

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	葉たばこ転換作物支援対策事業			基本目標	農業経営基盤の強化					
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	坂 敬章		事業開始年度	H24 年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	平成23年度葉たばこ廃作農家			平成23年度の葉たばこ廃作農家が他品目への作物転換を円滑に行うため。						
事業の内容	葉たばこの作付を行っていた時期に作付を行う品目で新たに作付を行う(増反を含む)品目の栽培に必要な種苗、資材導入費の補助。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	3,068 千円		987 千円		1,000 千円		国庫支出金	0 千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	0 千円	
		歳出	補助金					地方債	0 千円	
							その他	0 千円		
							一般財源	1,000 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	葉たばこ転換作物支援対策事業補助金				
	補助対象	平成23年度葉たばこ廃作農家			補助金要綱	葉たばこ転換作物支援対策事業補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	987 千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	1,000 千円	終期	26
		交付団体の決算額	0 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#DIV/0!		%	H24 新規事業 5号補正により△(1,051-38)千円の減額					
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
休耕地の増加防止			新作物の振興					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
葉たばこ廃作地の転換率	100	%						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
葉たばこ廃作跡地への転換作物の作付	ha							

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度			25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	100	100	目標値	100	達成率	100.0%	
成果指標	葉たばこ廃作地の転換率	%	実績値	100	100	目標値	100			
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%			
			実績値			目標値				
			達成率			達成率				
活動指標	葉たばこ廃作跡地への転換作物の作付	ha	実績値	17.95	17.95	目標値	17.95			
			目標値	17.95	17.95					
			実績値			目標値				
			目標値							

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	3	効率性	5	依然として農作物の価格は安く、農家は苦戦をしいられている中、昨年は作付に失敗した、ねぎは、今年度は出荷することができ、販路も拡大させる方向にある。その他の方も甘藷など、作付面積を拡大し、経営安定に向けて努力をされるに、町からの支援は不可欠であると考える。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄		外部評価委員会評価判定欄
廃止	<ul style="list-style-type: none"> ・三か年の事業の終期 ・農家もH26年度で廃止と理解している 	

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	農業振興対策事業				基本目標	農業経営基盤の強化			
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	坂 敬章		事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	農家			資質向上と会員の親睦を図り、高鍋地区の農畜産業の発展に寄与する。					
事業の内容	各生産部会等に下記の補助を行っている。 農協各生産部会 622,000円 花き振興会 30,000円 茶業振興会 65,000円								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	714 千円		714 千円		714 千円		国庫支出金	0 千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	0 千円
		歳出	補助金					地方債	0 千円
							その他	0 千円	
							一般財源	714 千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	農業振興対策事業補助金			
	補助対象	農協、花き振興会、茶業振興会			補助金要綱	農業振興対策事業補助金交付要綱			
	前年度決算	補助額	717 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	717 千円 終期 26	
		交付団体の決算額	76 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
決算額に占める割合	943 %		◎各部会に補助金を出す意義が不明である。(H23) ◎JA児湯管内3町の統一した補助基準が設けられることを期待する。(H23)						
繰越額	13 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
各種検討会、研修会の実施			支援団体の活動助成					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
農業生産額	7,675,710	千円						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
各種検討会、研修会の開催	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			実績値	24年度	25年度	
成果指標	農業生産額	千円	実績値	6,722,070	7,410,129	目標値 7,675,710
			達成率	87.6%	96.5%	達成率 100.0%
			実績値			目標値
			達成率			達成率
活動指標	各種検討会、研修会の開催	回	実績値	275	275	目標値 250
			目標値	250	250	250
			実績値			目標値
			目標値			目標値

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	5	研修会、検討会を通して、農作物の品質向上につながるのはもちろんのこと、ベテラン層と若年層の交流にもつながる。しかし、農作物の価格下落、資材の高騰など、生産者を取巻く環境は悪化の一途であり、このような研修会等は縮小傾向をたどり、生産者の意欲減退、横の繋がりの希薄化につながっている。しかるに、町の農業振興のために本事業は必要不可欠である。なお、支援団体は農業のみならず、本町イベント、事業にも多数、参加協力もしている。また、本事業は木城町及び新富町と共通の事	今後の方向性 拡充
	有効性	4	公益性	4		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・3町で検討することで現段階は維持。 ・拡充については、三町の話し合いで。 ・高鍋町単独での金額の増額はできない(新富・木城町と協議のうえ決定) ・各農家の方と接する機会はここしかない ・農協も補助金を出している(町以上の金額) ・補助交付にあたっては関係町との協議による判断を要す 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	新需給システム推進事業				基本目標	地場産業の振興				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		事業開始年度	H16	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	高鍋町農業再生協議会			水田農業構造改革対策等の事業を推進する						
事業の内容	農業者戸別所得補償制度主要事務、転作現地確認、座談会等の実施									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	266 千円		266 千円		266 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出						地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	266 千円		
補助事業	事業の区分	町単独による補助事業			補助事業名	高鍋町農業再生協議会補助金				
	補助対象	高鍋町農業再生協議会			補助金要綱	高鍋町農業再生協議会補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	100 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	100 千円	終期	26
		交付団体の決算額	1,783 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	6 %		※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討 ※旧高鍋町水田農業推進協議会補助金						
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
水田農業事務の円滑な達成								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
主要事務等の実施	100	%						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
転作現地確認数	回	転作座談会開催数	回	転作座談会参加者数	人			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			実績値	24年度	25年度		目標値
成果指標	主要事務等の実施	%	実績値	100	100	目標値	100
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%
			実績値			目標値	
			達成率			達成率	
活動指標	転作現地確認数	回	実績値	10	10	目標値	10
			目標値	10	10		
	転作座談会開催数	回	実績値	22	22	目標値	22
			目標値	22	22		
	転作座談会参加者数	人	実績値	300	300	目標値	300
			目標値	300	300		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	米生産調整に伴う転作現地確認事務や、農政座談会事務等を行う上で必要である経費のため、今後必要。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		維持

事務事業評価委員会評価欄	・国の事業関連もあり、維持。	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	優良雌牛導入事業補助金				基本目標	地場産業の振興				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	宮越 直正		事業開始年度	H24	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	町内に在住する畜産農家及び畜産経営を予定している農家			高鍋町の牛増頭及び農家所得向上及び、より良い子牛生産による価格安定が図れる。						
事業の内容	郡子牛品評会等以上又は県認定牛の導入に対し補助を行う									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	501 千円		297 千円		1,350 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,350 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	優良雌牛導入事業補助金				
	補助対象	町内在住畜産農家及び畜産経営を予定している農家			補助金要綱	高鍋町優良雌牛導入事業補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	297 千円		補助の形態	奨励的補助	H26年度補助額	1,350 千円	終期	26
		交付団体の決算額	1,525 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	20 %		H25 6号補正で△1,803千円減 ◎口蹄疫からの復興のためにも必要な事業である。(H25) ◎単価を増やせば件数が増えるならば考慮すべきと思うが、現状の単価で受益者負担が十分であるのならば、コスト縮小が良いと思う。(H25) ◎今後の、事業方針はどうするのか。(H25)						
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
町産和牛の品質向上			増頭と肉牛価格向上			地域全体の子牛高価格の維持		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
優良雌牛の確保	9	頭	平均子牛価格	450,000	円			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
優良雌牛導入数	頭							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	優良雌牛の確保	頭	実績値	4	2	目標値 3
			達成率	44.4%	22.2%	達成率 33.3%
	平均子牛価格	円	実績値	409,450	515,959	目標値 450,000
			達成率	91.0%	114.7%	達成率 100.0%
活動指標	優良雌牛導入数	頭	実績値	4	2	目標値 9
			目標値	17	17	
			実績値			目標値
			目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	3	優良雌牛の導入を奨励することにより、本町和牛の名声を高めるとともに、牛の増頭及び農家所得向上と価格の安定を図るために必要な事業である。	今後の方向性
	有効性	3	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄	・継続すべき事業と考えるが、予算に実績が伴っていない。 ・年間2頭程度(補助対象)で補助の目的を達成できているといえるのか？ ・農家所得の向上と価格安定のほか優良牛の確保にも効果が期待できる	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	松くい虫薬剤防除委託事業				基本目標	適切な森林整備の推進				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	佐野 由美		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	高鍋町の防風松林			松くい虫の食害から松林を守る						
事業の内容	防風林であり、海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、薬剤防除を行う。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	2,434 千円		1,224 千円		1,447 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	委託料					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,447 千円		
補助事業	事業の区分				補助事業名					
	補助対象				補助金要綱					
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態			H26年度補助額	千円
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!		%						
	繰越額			千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
防風林の機能の維持			景観の保全			被害の予防		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
松くい虫の防除面積	13	ha						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
松くい虫薬剤防除	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	松くい虫の防除面積	ha	実績値	13	13	松くい虫の被害を予防することで、防風林の機能を維持し、景観の保全に努める。
			達成率	100.0%	100.0%	
	実績値			目標値	13	
	達成率			達成率	100.0%	
活動指標	松くい虫薬剤防除	回	実績値	2	1	松くい虫の被害を予防するため、薬剤を散布する。
			目標値	2	1	
	実績値			目標値		
	目標値			目標値		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	蚊口浜近辺の松林は、防風林潮害保全であると同時に、海岸線の景観に寄与しており、町の財産でもある。松を枯死させる松くい虫の被害は年々増加しており、継続的な薬剤防除が必要である。松林の殆どは町の財産であり、防風潮害保安林としての役目もあることから、公益性は非常に高い。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・県費での事業なので維持。 ・県補助として樹幹注入が求められない中では維持していくしかない。 ・町の方針としては樹幹注入の方が効果ありと判断し、H25年度から2回を1回に減少 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	松くい虫薬剤樹幹注入事業委託			基本目標	適切な森林整備の推進				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	佐野 由美		事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	高鍋町の防風松林			松くい虫の被害から松林を守る					
事業の内容	防風林であり、海岸の景観にも寄与している松林を松くい虫の被害から守るため、樹幹注入による薬剤防除を行う。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	1,138 千円		2,276 千円		2,276 千円		国庫支出金 千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金 千円	
		歳出	委託料					地方債 千円	
								その他 千円	
					一般財源 2,276 千円				
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態			H26年度補助額 千円 終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等			
		決算額に占める割合	#VALUE!		%				
	繰越額			千円					

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
防風林の機能の維持			景観の保全			松くい虫被害の予防		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
松くい虫の防除	88	本						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
松くい虫薬剤樹幹注入	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	松くい虫の防除	本	実績値	44	129	目標値 130
			達成率	50.0%	146.6%	達成率 147.7%
				実績値		目標値
				達成率		達成率
活動指標	松くい虫薬剤樹幹注入	回	実績値	1	1	目標値 1
			目標値	1	2	
				実績値		目標値
				目標値		目標値

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	蚊口浜付近の松林は、防風林潮害保安林であると同時に、海岸線の景観に寄与している。 松林の殆どは町の財産であり、防風潮害保安林としての役目もあることから、公益性は非常に高い。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	・この事業の効果を県に示し、県の事業として実施するよう要望を。 ・樹幹注入の頻度を上げれば効果も上がるかもしれないが、予算措置としては現状対応で維持していくしかない。	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	稚貝放流委託事業				基本目標	活力ある水産業の振興				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	佐野 由美		事業開始年度		年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	蚊口浜			蚊口浜に生息する貝の種類を増加させることができる。						
事業の内容	蚊口浜において、アワビ・サザエ稚貝の放流を委託する。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	150 千円		150 千円		150 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	委託料					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	150 千円		
補助事業	事業の区分				補助事業名					
	補助対象				補助金要綱					
	前年度決算	補助額			千円	補助の形態		H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額			千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合		#VALUE!	%						
	繰越額		千円							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
蚊口浜の環境保護			水揚げ高の増加					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
水質(DO数値)数値以上	8	mg/l	水質(BOD数値)数値未満	2	mg/l			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名		単位	活動指標名		単位	活動指標名		単位
放流量(アサリ)		kg	放流量(アワビ)		kg	放流量(サザエ)		kg

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	水質(DO数値)数値以上	mg/l	実績値	8	8	放流をすることで、環境保護のために資することができる。	
			達成率	100.0%	100.0%		
	水質(BOD数値)数値未満	mg/l	実績値	2	2		同上
			達成率	100.0%	100.0%		
活動指標	放流量(アサリ)	kg	実績値	0	0	アワビ1回放流量の確認。 サザエ1回放流量の確認。	
			目標値	165	0		
	放流量(アワビ)	kg	実績値	3	3		
			目標値	6	3		
	放流量(サザエ)	kg	実績値	40	40		
			目標値		40		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	3	効率性	3	高鍋町カキ生産組合も本事業と併せて同量以上の自主放流を実施することで受益者負担も行われており、事業目的からみても町が行う事業として適切と判断できる。 蚊口浜の自然環境保全と沿岸漁業振興のために必要である。	今後の方向性
	有効性	3				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 水揚げ高の効果は示せないか。 放流によって漁獲高がどのくらい増えたのかが成果指標とすべき 漁獲高は増加しているとの情報あり 事業目的に対して成果指標がずれているのではないかと要検討。 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	有害鳥獣捕獲班活動支援事業				基本目標	経営基盤の強化				
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	佐野 由美		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	有害鳥獣駆除班が行う有害鳥獣の駆除活動			農林水産物及び地域住民が受ける有害鳥獣による被害を防止する。						
事業の内容	農林水産物及び地域住民に被害をもたらす有害鳥獣の捕獲、駆除。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	44 千円		45 千円		51 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	51 千円		
補助事業	事業の区分	国県補助			補助事業名	有害鳥獣捕獲班活動支援事業補助金				
	補助対象	高鍋町有害鳥獣駆除対策協議会			補助金要綱					
	前年度決算	補助額	45 千円		補助の形態	国県補助	H26年度補助額	51 千円	終期	無し
		交付団体の決算額	45 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	100 %		※全て特定財源 H24 4号補正により19千円減額、H25 3号補正で1千円増額						
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
有害鳥獣駆除捕獲								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
有害鳥獣捕獲数	3	頭						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
有害鳥獣捕獲出動	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	有害鳥獣捕獲数	頭	実績値	0	1	目標値	適正かつ迅速な有害鳥獣の駆除を行うことにより、農林水産物の被害を抑える。
			達成率	0.0%	33.3%	達成率	
		実績値			目標値		
		達成率			達成率		
活動指標	有害鳥獣捕獲出動	回	実績値	10	8	目標値	農林水産物に被害を与える有害鳥獣の駆除を行う。
			目標値	10	10	目標値	
		実績値			目標値		
		目標値			目標値		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	町内の農産物の生産基盤の保持のため、必要な事業であると判断する。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		農林水産物に対する鳥獣被害を防止する有害鳥獣捕獲事業は、農林水産業の保護の一環として非常に公益性の高いものである。

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・全額県費であり、維持。 ・どのくらいの効果があるのか不明 ・町が実施している事業(マイスター・電柵補助)を充実させる方が効果があるのではないか? 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	小丸川魚種放流委託事業				基本目標	活力ある水産業の振興			
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	佐野 由美		事業開始年度		年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	小丸川			小丸川に生息する魚類を増やすことができる。					
事業の内容	小丸川流域において、アユ(稚魚)ウナギ(稚魚)の放流を委託する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	300 千円		300 千円		300 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	委託料					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	300 千円	
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態		H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%						
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A									
小丸川流域の環境保護				漁獲量増加					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標									
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	
水質(DO数値)数値以上	5	mg/l	水質(BOD数値)数値未満	3	mg/l	小丸川流域漁獲量増加	600	kg	
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標									
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位				
放流量(アユ)	kg	放流量(ウナギ)	kg						

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	水質(DO数値)数値以上	mg/l	実績値	5	5	放流を実施することで、環境保護のために資することができる。	
			達成率	100.0%	100.0%		
	水質(BOD数値)数値未満	mg/l	実績値	3	3	同上	
			達成率	100.0%	100.0%		
	小丸川流域漁獲量増加	kg	実績値	800	636	漁獲量の増加が生息数に比例すると考えられる。	
			達成率	133.3%	106.0%		
活動指標	放流量(アユ)	kg	実績値	68	70	アユ1回放流量の確認。	
			目標値	68	70		
	放流量(ウナギ)	kg	実績値	0	0		
			目標値	0	0		
				実績値			
				目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	3	効率性	3	小丸川漁業協同組合も本事業と併せて同量以上の自主放流を実施することで受益者による費用負担も行われており、事業目的からみても町が行う事業として適切と判断できる。 小丸川に生息する魚類の生息数回復のために必要な事業と考える。	今後の方向性
	有効性	3				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者の負担もあり維持。 ・評価になじまない。 ・法律で定められた事業ではないかとの意見あり ・目的(魚種を増やす)に対する成果指標の設定に検討を要す 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	蚊口枯れ松伐倒駆除委託				基本目標	適切な森林整備の推進			
担当課(局)・係	産業振興課	農林畜産係	記入者	佐野 由美		事業開始年度	H25	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	高鍋町の防風松林			高鍋町の防風松林の松くい虫の被害を防ぎ、倒木による被害を防ぐ。					
事業の内容	防風林であり海岸の景観にも寄与している松林のうち、松くい虫の被害を受けている松について伐倒し、被害の拡大を抑えるとともに、倒伏による墓石の破壊、墓参り者等の人身事故を防止する。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額		千円	3,600	千円	2,000	千円	国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	委託料					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	2,000 千円	
補助事業	事業の区分				補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態		H26年度補助額	千円	終期
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
		決算額に占める割合	#VALUE!	%					
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
被害松の伐倒駆除			被害松の倒伏による墓石等構築物の破壊防止			被害松の倒伏による人身事故防止		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
駆除本数	45	本	構築物の破壊	0	件	人身事故	0	件
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位		活動指標名	単位		活動指標名	単位	
被害松の伐倒駆除	本							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			実績値	24年度	25年度		目標値
成果指標	駆除本数	本	実績値	0	14	目標値	30
			達成率	0.0%	31.1%	達成率	66.7%
	構築物の破壊	件	実績値	0	0	目標値	0
			達成率	0.0%	100.0%	達成率	100.0%
	人身事故	件	実績値	0	0	目標値	0
			達成率	0.0%	100.0%	達成率	100.0%
活動指標	被害松の伐倒駆除	本	実績値	0	14	目標値	30
			目標値	0.0%	31.1%	達成率	66.7%
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	枯れ松被害は、薬剤防除・薬剤樹幹注入を行うも、ここ数年で相当本数が被害に遭っている。被害に遭った松は、被害を食い止めるためにも早急に伐倒駆除する必要がある。また、枯れた松は、倒伏しやすく、いつ何時倒伏し、墓石等の破壊や人身事故を巻き起こす可能性がある。今後、できるだけ早く枯れた松の伐倒駆除を行う必要がある。	今後の方向性
	有効性	5				拡充

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 危険なところから伐倒することで維持。 年次的に、実施していくことが必要。 松林内の墓石に被害が生じる可能性も高いため、少しでも早めに伐採が必要 枯れ松が増加している。防除を強化すべきではないか? 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	商店街まちなみ景観形成事業			基本目標	商店街の活性化			
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人	事業開始年度	H 24	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を) 町内商店街に所在する建物等の所有者			意図(どのような状態にしたいのか) 城下町高鍋らしい魅力ある商店街のまちなみ景観を維持し、又は形成し。				
事業の内容	補助対象地域に所在する店舗・建物等の所有者のうち、高鍋町まちなみ商業活性化協議会景観ガイドラインの趣旨を尊重して実施する建物等の外観改修、改築又は新築の事業に対し、補助金を交付する。 補助率: 補助対象経費の1/3(上限50万円)							
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳
	金額	2,000 千円		733 千円		1,000 千円		国庫支出金 千円
	主な予算科目	歳入						県負担金 千円
		歳出	商店街まちなみ景観形成事業補助金					地方債 千円
							その他 千円	
							一般財源 1,000 千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	商店街まちなみ景観形成事業補助金		
	補助対象	高鍋町まちなみ商業活性化協議会景観ガイドラインの趣旨を尊重して実施する建物等の改修、改築又は新築の事業			補助金要綱	高鍋町商店街まちなみ景観形成事業補助金交付要綱		
	前年度決算	補助額	733 千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	1,000 千円 終期
		交付団体の決算額	2,220 千円		前年度までの見しんしの状況・評価委員会での決定事項等			
		決算額に占める割合	33 %		事業維持・コスト維持 ※外部評価 維持 ※H24新規事業 H25 5号補正により733千円追加、6号補正で△1,000千円減 ◎新規事業でもあるので事業実績の精査のため短期間での事業評価が必要。(H25) ◎商店街の町並みが統一されることは良い。(H25)			
	繰越額	0 千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
商店街の売上げ増加			商店街の景観向上					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
商店街視察受入件数	12	回	商店街における交通量(人)	500	人	商店街における交通量(車)	2,000	台
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
事業実施件数	件	補助金額	円					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			実績値	24年度	25年度		目標値
成果指標	商店街視察受入件数	回	実績値	5	2	目標値	10
			達成率	41.7%	16.7%	達成率	
	商店街における交通量(人)	人	実績値	168	181	目標値	300
			達成率	33.6%	36.2%	達成率	60.0%
	商店街における交通量(車)	台	実績値	1,596	1,372	目標値	1,800
			達成率	79.8%	68.6%	達成率	90.0%
活動指標	事業実施件数	件	実績値	4	2	目標値	2
			目標値	5	2		
	補助金額	円	実績値	2,000,000	733,000	目標値	1,000,000
			目標値	2,500,000	1,000,000		
			実績値			目標値	
			目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	本事業により商店街のまちなみ景観を維持・形成していくことは商店街の維持・継続・発展、ひいては地域の発展につながるものである。 今後とも事業を継続し、商店街全体に広げていく必要がある。また、対象地域の拡大について検討していく必要がある。	今後の方向性 維持
	有効性	5	公益性	4		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成のため対象地域の拡大の検討を。 ・事業の成果が出てきていると考える。 ・補助対象地域外の商店からの要望も出てきていることから、検討が必要と思われる。 ・県内外からの視察は増加 ・効果は不明 ・商店街から入ったところ(対象外)からの要望もあるが、実施できていない(今後、改正する考えあり) ・一定の成果はあがっており、今後は対象範囲についての検討が必要ではないか 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	商店街にぎわい創生事業			基本目標	商店街の活性化					
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	平成7 年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	町内一定区域において、事業者等が集団形態をとり行う共同の事業			商店街の賑わいを創出するため、商店街等が実施する創意工夫をこらした取り組みを支援する。						
事業の内容	商店街の賑わい創出・商工業の活性化を目的とし実施される販売促進イベント、環境整備、人材育成などの事業に対し補助金を交付する。(補助対象経費の1/2以内)平成25年度実施事業は次のとおり。									
	①タヤけ市(高鍋町商店街連合会):220,000円、②たかなべまちのゼミ(たかなべ「まちの駅」連絡協議会):225,000円、③あかりプロジェクト(高鍋町まちなか商業活性化協議会):140,000円									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	292 千円		585 千円		600 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	商店街にぎわい創生事業補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	600 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	商店街にぎわい創生事業補助金				
	補助対象	町内一定区域において、事業者等が集団形態をとり行う共同の事業			補助金要綱	高鍋町事業者等団体補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	585 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	600 千円	終期	28
		交付団体の決算額	1,197 千円		前年度までの見しめの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	49 %		事業維持・コスト維持 ※外部評価 維持						
繰越額	0 千円		◎対象が町内の一区域に限定されるので、将来的な支援先の拡充等について検討しても良いのではないかと(H25) ◎イベントで盛り上がるのは良いが、まちなか(商店街)のイメージが強すぎる。イベント自体の開催場所等の検討も必要。(H25) ◎表題に「商店街」とあるように補助対象地区が限定されているので、広く町全体をカバーできるように要綱に見直すべきではないかと。(H25)							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
イベント開催等による商店街への集客			交流人口の増加による商店街の活性化					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
あかりオブジェ設置(累計)	50	基	商店街における交通量(人)	500	人	商店街における交通量(車)	2,000	台
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
タヤけ市開催回数	回	まちゼミ講座数	講座	まちゼミ受講者数	人			

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度			25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	
成果指標	あかりオブジェ設置(累計)	基	実績値	25	30	目標値	35	平成22年度、城下町高鍋まちなか活性化事業で25基設置。		
			達成率	50.0%	60.0%	達成率	70.0%			
	商店街における交通量(人)	人	実績値	168	181	目標値	300	平日10:00~19:00 本町一番街向山金物店前で調査実施		
			達成率	33.6%	36.2%	達成率	60.0%			
	商店街における交通量(車)	台	実績値	1,596	1,372	目標値	1,800	平日10:00~19:00 本町一番街向山金物店前で調査実施		
			達成率	79.8%	68.6%	達成率	90.0%			
活動指標	タヤけ市開催回数	回	実績値	1	1	目標値	1	平成25年度=第39回		
			目標値	1	1					
	まちゼミ講座数	講座	実績値	16	20	目標値	30	お客様に、お店の特徴を認識いただくとともに、信頼関係構築を図り、常連客・リピーターを確保する。		
			目標値	20	30					
	まちゼミ受講者数	人	実績値	147	123	目標値	200	平成25年度受講者 町内64人、町外43人、不明16人 アンケートによる満足度は高い。		
			目標値	300	300					

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	3	商店街に人を呼び込むためには町内外へのPRが不可欠であり、当事業により町及び商店街の魅力アピールに一定の効果をあげている。平成25年度は、経済産業省「がんばる商店街30選」に「高鍋町まちなか商業活性化協議会」が選定され、さらなる活性化に向けた取り組みが不可欠となっている。本事業を含む町単独の補助事業、国・県の補助事業をフル活用し、商店街の取り組みを支援していく。	今後の方向性 拡充
	有効性	4	公益性	3		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・にぎわいを創出するための新しい事業があれば拡充も考えられるが現段階では維持。 ・町全体の活性化に向けた取り組みも必要でないか。 ・町内へ対象を拡大、新たなイベントを実施するのであれば拡充でも良いが、その方向性を定めてからでも十分でないか。現状では、維持が妥当。 ・イベント等による一時的な集客が持続的な商店街の活性化に結びつくことが望ましい。 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	溶接技術競技大会補助事業				基本目標	経営基盤の強化				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	高鍋地区機械金属工業会			会員の溶接技術水準の向上と研鑽を回り、鉄工業界の振興と児湯地区の産業発展に寄与する。						
事業の内容	高鍋地区溶接技術競技大会の開催に係る大会運営費の補助事業(定額)									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	30千円		30千円		30	千円	国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	溶接技術競技大会補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	30千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	溶接技術競技大会補助金				
	補助対象	高鍋地区機械金属工業会			補助金要綱	高鍋町商業者等団体補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	30千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	30千円	終期	26
		交付団体の決算額	193千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	16%		◎高鍋町で毎年実施されており、懇親会など町経済に与える影響もあるため現状維持と考える。(H23) ◎3町(高鍋◎川南◎木城町)で、補助額の調整の廃止などの協議をすることが必要である。(H23) ※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討						
繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
溶接技術の向上			高鍋地区機械金属工業会の会員増強					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
大会出場事業所数	3	事業所	大会出場者数	20	人			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	大会出場事業所数	事業所	実績値	3	3	目標値 3
			達成率	100.0%	100.0%	達成率 100.0%
	大会出場者数	人	実績値	12	13	目標値 20
			達成率	60.0%	65.0%	達成率 100.0%
活動指標			実績値			目標値
			達成率			達成率
			実績値			目標値
			目標値			
			実績値			目標値
			目標値			
		実績値			目標値	
		目標値				

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	4	効率性	3	高鍋地区機械金属工業会は、会員工場の閉鎖等により、現在3事業所だけの組織となっている。会としては、溶接技術競技大会を今後も継続して開催し、会に所属していない技術者の参加を募るとともに、技術の継承・向上、会員増強に努力している。 大会参加者は、上位入賞を目指し切磋琢磨し、児湯地区全体の技術向上につながっており、会員相互の親睦も図られ、費用対効果は十分に認められる。 溶接技術者の育成・継承、会員・企業間連携の観点から、事業の継続が必要。	今後の方向性
	有効性	3	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 他町等も補助金を出していることあるので維持。 新富・木城・高鍋商工会議所も補助しており、町だけ抜けるのは難しいのではないかと。 県大会予選という位置付けであることから廃止はできず、現状維持が妥当。 補助金については出場事業所の所在自治体間で統一するなどの方針が必要ではないかと。 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	商工業振興対策補助事業				基本目標	経営基盤の強化				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	商工業者(高鍋商工会議所)			商工業者の経営安定及び商工業振興を図る。						
事業の内容	①商工業の経営安定普及事業、②商工業近代化・活性化対策事業、③地場産業振興事業、④商工業者人材育成事業、⑤商工業者の福利厚生事業に対し補助を行う									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	1,800 千円		1,800 千円		1,800 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	商工業振興対策補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,800 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	商工業振興対策補助金				
	補助対象	高鍋商工会議所			補助金要綱	高鍋町事業者等団体補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	1,800 千円		補助の形態	奨励的補助	H26年度補助額	1,800 千円 終期		26
		交付団体の決算額	28,037 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	6 %		<small>①交付金としての支出が可能か検討を実施するべきである。(H23)</small> <small>②商工会議所も運営に大変苦慮していると考え、政策的な分野が多々あるので、非常に難しい部門であり、今後の方向性は現状維持としたい。(H23)</small> <small>③商工会議所総体の決算に含まれるため使途が分かるように工夫をしていただきたい。(H23)</small>						
繰越額	1,677 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
商工観光関係団体の指導育成			商工業・観光の振興					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
高鍋商工会議所会員数	750	業者						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
検定試験合格者数	人							

◎目標達成状況

	指標名	単位		24年度	25年度	26年度	これまでの活動状況・特記事項
成果指標	高鍋商工会議所会員数	業者	実績値	693	707	目標値	710
			達成率	92.4%	94.3%	達成率	94.7%
				実績値		目標値	
				達成率		達成率	
活動指標	検定試験合格者数	人	実績値	60	49	目標値	70
			目標値	70	70	目標値	70
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	商工業者の経営改善・安定、商工業・観光の振興を図るため、高鍋商工会議所が中心となり関係団体と連携した各種事業を展開している。 また、本事業により、会議所青年部・女性会、SSグループ、商店街、まちの駅などの活動支援を行っている。 町民・商工業者間の協力体制や費用面など、行政主体で実施するより効率的・効果的である。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	4		維持

事務事業評価委員会評価欄	・商工業振興を図る事業ということで維持。 ・商工会議所を通じて下部組織の活動に充てられているが実績や効果が分かりづらい。	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	まちなかチャレンジショップ事業				基本目標	商店街の活性化				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	平成15年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	商工業者			商店街に点在する空き店舗の有効活用により商店街活性化を図る。						
事業の内容	中町名店会、高鍋本町一番街商店会、立花商店街振興会、たかなべ中央とおりのいずれかに所在する空き店舗を活用し事業を行う者(補助要件あり)に対し、補助金を交付する。 ①空き店舗の賃借に要する家賃(月額):1/2(上限30,000円)、公共・公益性のある事業による家賃は2/3(上限40,000円) ②改装工事費(実費):1/2(上限50,000円)									
予算・決算額	年度	平成24年度決算	平成25年度決算	平成26年度決算	平成26年度予算			平成26年度予算財源の内訳		
	金額	998千円		790千円		1,850千円		国庫支出金 千円		
	主な予算科目	歳入						県負担金 千円		
		歳出	まちなかチャレンジショップ事業補助金					地方債 千円		
							その他 千円	一般財源 1,850千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	まちなかチャレンジショップ事業補助金				
	補助対象	商店街空き店舗活用事業者			補助金要綱	高鍋町まちなかチャレンジショップ事業補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	790千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	1,660千円	終期	26
		交付団体の決算額	5,015千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
		決算額に占める割合	16%		事業維持:コスト維持(H23) ※外部評価 事業維持:コスト維持(H23) ◎商店街の活性化のためにも空き店舗の活用は必要であり、有効な事業と判断する。(H23) ◎6ヶ月の実績を踏まえて補助していくことから、この事業は空き店舗対策に有効と考える。(H23) H25:1号補正で690千円増額、3号補正で140千円増額、6号補正で△520千円減					
繰越額	0千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
商店街空き店舗解消による活性化								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
新規出店件数(単年度)	2	件	店舗稼働率	100	%			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
補助件数	件	稼働店舗数	件	空き店舗数	件			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度			
成果指標	新規出店件数(単年度)	件	実績値	0	6	平成25年度中出店:エスワイエヌ設計工房、だつくす、キルトショップシャリー、朝日新聞、マーマード、ヘアトリプル		
			達成率	0.0%	300.0%		達成率	100.0%
	店舗稼働率	%	実績値	80.6	85.5		目標値	87.1
			達成率	80.6%	85.5%		達成率	87.1%
活動指標	補助件数	件	実績値	3	5			
			目標値	5	5		目標値	6
	稼働店舗数	件	実績値	100	106		目標値	108
			目標値	102	104			
	空き店舗数	件	実績値	24	18		目標値	16
			目標値	22	20			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	3	商店街空き店舗利用を促進していくためには、町の助成が必要と考える。新規出店に伴う改装工事費の補助金額について増額を望む声が多い。(工事費の1/2、上限50,000円) 補助事業終了後も商店街に定着しており、一定の効果があがっている。今後は、まちなみ景観形成事業と連携し、空き店舗・空き地の解消に取り組んでいく必要がある。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗対策としては必要と考える。この事業の町外に向けPRが必要では。 ・空家バンクの取組も合わせて行う必要を感じる。 ・年次的に空き店舗減少に効果をあげており、まちなみ景観形成事業との相乗効果に期待したい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地場産業振興対策事業				基本目標	地場産業の振興				
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	H1	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	新商品の開発、需要の開拓、販路拡大等を目的に、新たに事業を行う団体			地場産業振興、農商連携による地域活性化を図る。						
事業の内容	補助対象経費:①新商品開発に係る調査・分析等に要する費用(人件費を除く) ②新商品の展示会及び試食会に要する経費 ③新商品の販路拡大のための市場調査等に要する経費 ④その他町長が適当と認めた事業に要する経費 補助率等:50/100以内(上限100万円)									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	520 千円		0 千円		1,000 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	地場産業振興対策補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,000 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	地場産業振興対策補助金				
	補助対象	高鍋町地場産業振興会会員ほか			補助金要綱	高鍋町地場産業振興対策補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	0 千円		補助の形態	臨時的補助	H26年度補助額	1,000 千円	終期	26
		交付団体の決算額	0 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	#DIV/0!		%	事業維持:コスト維持(H23) ※外部 事業拡充:コスト維持@コスト拡充(H23) ◎商品開発から販路開発までの一貫補助体制が必要と考える。(H23) ◎特産品の開発は観光産業の目玉となりえるものであり事業継続するべきと考える。(H23) ◎開発商品の販路拡大のための方策を要検討と考える。(H23)					
	繰越額	0 千円								

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
地場産業の振興			観光の振興					
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
新商品の開発数(単年度)	1	品	開発商品の売上(年間)	10,000	千円			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
ロールキャベツ丼販売食数(年間)	食	キャベローちゃん販売個数(年間)	個	キャベツ丸販売個数(年間)	個			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	新商品の開発数(単年度)	品	実績値	3	3	平成24年度:高鍋ロールキャベツ丼、キャベローちゃん(ロールケーキ)、きゃべつ丸(シュークリーム)の開発	
			達成率	300.0%	300.0%		達成率 100.0%
	開発商品の売上(年間)	千円	実績値	1,458	3,302	平成25年度:大使くんバナナチップス、キャベツクッキー、キャベツ大福の開発	
			達成率	14.6%	33.0%		達成率 50.0%
			実績値		目標値		
			達成率		達成率		
活動指標	ロールキャベツ丼販売食数(年間)	食	実績値	1,236	1,047	目標値 1,200	
			目標値	1,200	1,200		
	キャベローちゃん販売個数(年間)	個	実績値	414	1,523	目標値 1,800	
			目標値	150	1,800		
	キャベツ丸販売個数(年間)	個	実績値	1,092	3,777	目標値 4,200	
			目標値	300	3,600		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	「6次産業化」「農商連携」「地産地消」につながる可能性を見出す事業であり、高鍋ブランドとして独自性の高い製品開発を目指すため、町としても推進すべき事業である。高鍋ブランドとなりうる製品開発までには至っていないが、町内農畜産物の消費拡大、観光土産品としての選択肢拡大、販路(店頭、インターネット)拡大など、地場産業の振興・発展に向けて一定の成果は上がっている。	今後の方向性 拡充
	有効性	5	公益性	4		

事務事業評価委員会評価欄	<ul style="list-style-type: none"> 地場産業振興のための事業は大いにする必要があるが、予算的には維持。 例年、同額の100万円を予算計上しているが、実績が伴わないため、方向性が拡充はない。 新商品開発だけでなく、定着・販路拡大をまず実施すべきではないか。 商品開発はすすめられており商品化など一定の成果が見られる。今後は商品PRや販売手法などを含めたトータルでの事業展開に期待したい 	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	高鍋町観光協会補助事業				基本目標	観光イベント等の推進			
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	高鍋町民(特定非営利活動法人高鍋町観光協会)			観光振興による地域活性化を図る。					
事業の内容	①観光資源の調査・発掘・保全 ②観光PR及び観光客の誘致 ③観光イベントの企画・運営 ④観光ボランティアの育成・派遣 ⑤広域観光の推進								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	10,904 千円		9,400 千円		7,900 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	高鍋町観光協会補助金					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	7,900 千円	
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	高鍋町観光協会補助金			
	補助対象	特定非営利活動法人高鍋町観光協会			補助金要綱	高鍋町観光協会運営費補助金交付要綱			
	前年度決算	補助額	9,400 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	7,900 千円 終期 26	
		交付団体の決算額	12,501 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	75 %		◎現在の職員体制を維持するのは簡単なことではない、自主運営ができないのであれば縮小するべきである。(H23) ◎観光協会の自主財源が確保できる事業展開が望まれる。(H23) ◎補助ではなく町からの委託事業など早急な検討が必要である。(H23) ◎事務局職員体制と事業の方向性について、公的支援の在り方、あるいは指定管理者制度への移行等、あらゆる角度から検討を加え、24年度は新					
	繰越額	190 千円							

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
観光誘客の促進			高鍋町観光PRの促進			観光資源の保全		
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
舞鶴公園桜まつり来場者数	25,000	人	海水浴場来場者数	10,000	人	たかなべ明倫観光ボランティアガイド実績	24	回
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
ビーチクリーン活動参加者数	人	高鍋大師花守山草刈り大作戦参加者数	人	高鍋大師花守山植樹祭参加者数	人			

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項
			24年度	25年度	26年度	
成果指標	舞鶴公園桜まつり来場者数	人	実績値	24,600	24,300	目標値 25,000
			達成率	98.4%	97.2%	達成率 100.0%
	海水浴場来場者数	人	実績値	4,103	6,631	目標値 7,000
			達成率	41.0%	66.3%	達成率 70.0%
	たかなべ明倫観光ボランティアガイド実績	回	実績値	15	18	目標値 24
			達成率	62.5%	75.0%	達成率 100.0%
活動指標	ビーチクリーン活動参加者数	人	実績値	1,000	2,000	目標値 1,000
			目標値	600	600	
	高鍋大師花守山草刈り大作戦参加者数	人	実績値	470	341	目標値 400
			目標値	400	400	
	高鍋大師花守山植樹祭参加者数	人	実績値	417	300	目標値 400
			目標値	300	300	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	平成23年度の法人化により組織的には独立したものの、現状としては町補助金による財政的支援が不可欠である。 桜まつり、海水浴場・キャンプ村開設、花守山整備事業など、各種事業の企画・運営について観光協会主導で行っており、イベント参加者も増加傾向にある。 今後とも、町・高鍋町観光協会・高鍋商工会議所が中心となり、各種団体とも連携し、観光資源の保全、PR、交流人口の増加のための取り組みを進めていく。	今後の方向性
	有効性	5	公益性	5		維持

事務事業評価委員会評価欄	・自主財源の確保に努力してもらいたい。 ・観光協会の事業は独立した運営しているものの、自主財源を確保し、財政的にも独立するようにはすべきではないか。 ・自主財源確保について引き続き検討が必要	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	小規模事業者特別融資制度保証料補助事業		基本目標	経営基盤の強化						
担当課(局)・係	産業振興課	商工観光係	記入者	吉田 竜人		事業開始年度	年度			
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どのような状態にしたいのか)							
	中小企業者及び小規模企業者(中小企業信用保険法第2条の規定による)		町内小規模事業者の事業に必要な資金の融資を円滑にし、経営改善・安定を図る。							
事業の内容	高鍋町中小企業特別融資制度及び小口零細企業融資制度利用者への保証料を補助する。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	839 千円		888 千円		1,000 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	小規模事業者特別融資制度保証料補助金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	1,000 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	小規模事業者特別融資制度保証料補助金				
	補助対象	宮崎県信用保証協会(町内小規模事業者)			補助金要綱	高鍋町中小企業特別融資制度等信用保証料補助金交付要綱				
	前年度決算	補助額	888 千円		補助の形態	その他補助	H26年度補助額	1,000 千円	終期	26
		交付団体の決算額	888 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
	決算額に占める割合	100 %		◎小規模事業者にとっては必要な事業と判断する。(H23) ※評価対象として馴染まないという意見有。次回見直し時に要検討						
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
小規模事業者の経営安定								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
中小企業者特別融資制度新規利用者	5	件	小口零細企業融資制度新規利用者	20	件			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
年度末保証債務残高	千円							

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項	
			24年度	25年度	26年度		
成果指標	中小企業者特別融資制度新規利用者	件	実績値	8	5	目標値	5
			達成率	160.0%	100.0%	達成率	100.0%
	小口零細企業融資制度新規利用者	件	実績値	25	20	目標値	20
			達成率	125.0%	100.0%	達成率	100.0%
活動指標	年度末保証債務残高	千円	実績値	81,173	79,434	目標値	100,000
			目標値	100,000	100,000		
				実績値		目標値	
				達成率		達成率	
				実績値		目標値	
				目標値		目標値	

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	4	小規模事業者の資金借入れに係る負担を軽減し、経営改善・新分野進出・事業拡大等の取り組みを支援するものであり、町以外では実施できない。 平成24年度から、町融資制度利用者のうち設備資金借入れ者に対する利子補給事業を開始したため、平成24・25年度は設備資金の借入が急増した。 現行制度の借入利率・限度額・利子補給制度の導入等について、検討	今後の方向性
	有効性	4	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄	・資金力の乏しい小規模事業者にとっては必要な事業である	外部評価委員会評価判定欄
維持		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	ふるさと水と土保全事業				基本目標	農業生産基盤の整備				
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝敏郎			事業開始年度	年度		
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)						
	農業用施設(用排水・農道等)			老朽化した農業用施設(用排水・農道等)の長寿命化を図る。						
事業の内容	農業用施設の維持管理に伴う作業及び原材料支給を行うことで、用排水や農道等の長寿命化を図る。									
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳		
	金額	1,206 千円		2,999 千円		2,748 千円		国庫支出金	千円	
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円	
		歳出	・賃金・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・原材料・負担金補助及び交付金					地方債	千円	
							その他	千円		
							一般財源	2,748 千円		
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	農業用水路維持管理補助金				
	補助対象				補助金要綱					
	前年度決算	補助額	722 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	1,255 千円	終期	26
		交付団体の決算額	7,167 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等					
決算額に占める割合	10 %		<small>◎地域の農家◎非農家が一体となって維持管理できるよう十分に啓蒙すること。(H22) <small>◎農道の排水路については、町が維持管理等に努めなくてはならないと判断するが、用排水で、地権者からは排水料などを徴収しているところは、水利組合の自主運営すべきと考える。(H23) ※492千円は誤り 正:230千円 <small>H25.5号補正により230千円増</small> </small></small>							
繰越額	0 千円									

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
適切な維持管理を行える農業用施設の更新								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
農業用施設の維持管理	0	個所	原材料の支給	0	個所			
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位	
点検	回							

◎目標達成状況

	指標名	単位	年度				これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度	26年度			
成果指標	農業用施設の維持管理	個所	実績値	6	6	目標値	6	農業用排水の浚渫、農道の補修等	
			達成率		100.0%	達成率			
	原材料の支給	個所	実績値	6	3	目標値	2		補修に伴う材料支給、直営工事に伴う材料支給
			達成率		100.0%	達成率			
			実績値		目標値				
			達成率		達成率				
活動指標	点検	回	実績値	13	13	目標値	13	月1回以上の点検、	
			目標値	13	13				
				実績値		目標値			
				目標値		目標値			
			実績値			目標値			
			目標値			目標値			

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	3	農業施設の老朽化により、補修箇所を増加している。地元で対応できる分については、材料支給で対応したい。	今後の方向性
	有効性	4	公益性	3		維持

事務事業評価委員会評価欄	・事業の一本化を、望みます。 ・農地・水環境保全協議会との統合について要検討	外部評価委員会評価判定欄
縮小		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	地域用水機能増進事業				基本目標	河川環境の保全					
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎		事業開始年度					
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)							
	農業用水路を管理する対策協議会			農業用水路としての機能と、住宅地を流れる水路としての維持管理を行う							
事業の内容	地域用水対策協議会への補助金を通じて適切な維持管理に努める。										
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳			
	金額	226 千円		228 千円		240 千円		国庫支出金	千円		
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円		
		歳出	・需用費・負担金					地方債	千円		
							その他	千円			
							一般財源	240 千円			
補助事業	事業の区分	町単独補助			補助事業名	地域用水維持管理活動費補助金					
	補助対象				補助金要綱						
	前年度決算	補助額	220 千円		補助の形態	運営費補助	H26年度補助額	220 千円		終期	26
	決算	交付団体の決算額	220 千円		前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等						
		決算額に占める割合	100 %		◎補助金の性質にそぐわないので、継続ならば委託料で検討する必要がある。(H23)						
		繰越額	0 千円		◎公共資産の維持管理上、適切な方法で管理していく必要がある。(H23)						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
維持管理を行うことで、快適な水環境を提供する。								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
農業用水路の維持管理	2	回						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
補助金の履行確認	回	作業状況の確認	回					

◎目標達成状況

	指標名	単位	24年度		25年度		26年度		これまでの活動状況・特記事項
			実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	
成果指標	農業用水路の維持管理	回	実績値	2	2	目標値	2	年2回の草刈業務	
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%		
		実績値			目標値				
		達成率			達成率				
活動指標	補助金の履行確認	回	実績値	1	1	目標値	1		
			目標値	1	1	目標値	1		
	作業状況の確認	回	実績値	1	1	目標値	1		
			目標値	1	1	目標値	1		
	実績値			目標値					
	目標値			目標値					

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	3	効率性	3	宮田地区内の農村公園ということで、宮田地区が公園の管理をおこなっている。今後、多面的機能支払交付金等の利用が可能であればそちらに移行したい。	今後の方向性
	有効性	3	公益性	3		縮小

事務事業評価委員会評価欄	・事業の一本化を、望みます。	外部評価委員会評価判定欄
縮小		

平成26年度高鍋町事務事業評価表A

◎事務事業の概要

継続事業

事務事業名	農地・水保全管理支払交付金				基本目標	農業生産基盤の整備			
担当課(局)・係	産業振興課	農村整備係	記入者	三枝 敏郎		事業開始年度	#####	年度	
事業の目的	対象(誰を・何を)			意図(どのような状態にしたいのか)					
	各農地・水環境保全協議会			農地の適正な維持管理に努め、優良な農地を持続する。					
事業の内容	各農地・水環境保全協議会への県からの交付金を通じて農地の適切な維持管理に努める。								
予算・決算額	年度	平成24	年度決算	平成25	年度決算	平成26	年度予算	平成26年度予算財源の内訳	
	金額	3,957 千円		4,113 千円		3,714 千円		国庫支出金	千円
	主な予算科目	歳入						県負担金	千円
		歳出	役務費・負担金					地方債	千円
							その他	千円	
							一般財源	3,714 千円	
補助事業	事業の区分	補助事業ではない			補助事業名				
	補助対象				補助金要綱				
	前年度決算	補助額		千円	補助の形態		H26年度補助額		千円 終期
		交付団体の決算額		千円	前年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等				
	決算額に占める割合	#VALUE!	%						
	繰越額		千円						

◎指標の設定

「事業の目的」の達成のために、この事業でねらう成果(補助事業の場合、補助対象に期待する成果) ……A								
維持管理を行うことで、優良農地を持続する。								
Aの達成状況を計るもの ……成果指標								
成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位	成果指標名	最終目標値	単位
総会の開催による事業報告	1	回						
Aを達成するために、この事業で行う活動 ……活動指標								
活動指標名	単位	活動指標名	単位	活動指標名	単位			
管理状況の確認	回		回					

◎目標達成状況

	指標名	単位	26年度			これまでの活動状況・特記事項		
			24年度	25年度	26年度			
成果指標	総会の開催による事業報告	回	実績値	1	1	目標値	1	年1回の総会により活動報告
			達成率	100.0%	100.0%	達成率	100.0%	
				実績値		目標値		
				達成率		達成率		
活動指標	管理状況の確認	回	実績値	1	1	目標値	1	管理状況(書類、現地)の確認を行った。
			目標値	1	1			
				実績値		目標値		
				目標値		目標値		

※達成率は、「目標の設定」で定めた最終目標値に対するもの。

◎主管課による総合評価(今後の方向性を含む)

採点基準:(高い) 5-4-3-2-1 (低い)

総合評価	必要性	5	効率性	5	今後、多面的機能支払交付金に変更になる町内全域に事業展開し、町内の農地の保全に努めたい。	今後の方向性
	有効性	5		3		拡充

事務事業評価委員会評価欄		外部評価委員会評価判定欄
拡充	<ul style="list-style-type: none"> 事業の一本化を、望みます。 類似事業との統合について検討を要す 	